

富士市のトンボ

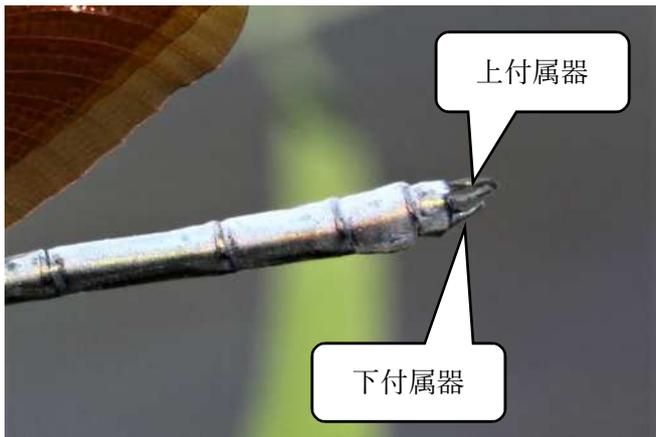
富士市にはむかしは沼津市から続くとても広い浮島沼がありました。古い写真を見ると、こしまで水につかって田植えをする様子が写されています。田んぼになる前の沼だった時にはきっと多くのトンボが飛び交う『トンボの楽園』だったことでしょう。でも今ではそのほとんどが埋め立てられてしまいました。トンボは池や沼、椎市などたまり水に住む種類と川や用水路など、流れに住む種類があります。池や沼、湿地に住むトンボは今はほんのわずかに残るため池や、湿地にだけ住んでいます。

富士市では 2023 年までに 36 種のトンボを見ることができました。ほとんどのトンボが富士市内で毎年発生していると思われませんが、ハネビロトンボは夏の南西からの風に乗って、一時的に富士市に飛んできたものと思われます。またマイコアカネは 2023 年に秋にオスが 1 頭だけ見つかったただけですが、非常に珍しいトンボで、富士市のどこかで毎年発生しているかもしれません。チョウトンボは夏の池や沼の上をヒラヒラと飛ぶトンボです。はねは黒っぽいのですが、動かすと青紫色（オス・メスの一部）や黒緑色（メス）に光ります。

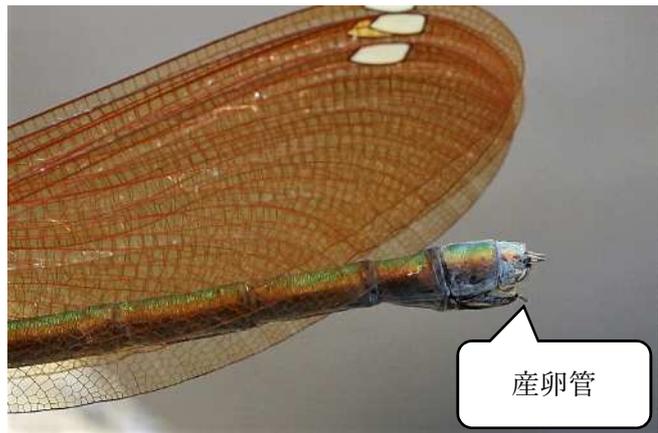
トンボのオスとメス トンボのオスとメスの見わけかた

<均翅亜目> ニホンカワトンボ

オス



メス

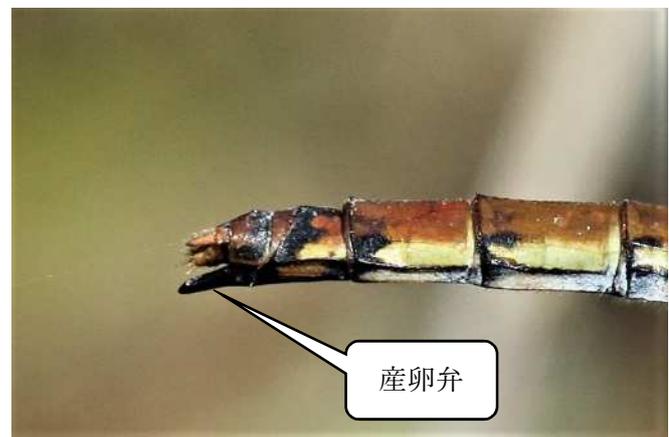


<不均翅亜目> オナガアカネ

オス



メス



トンボの一生

幼虫＝ヤゴとよばれます。水の中に住んでいます。1回冬を越すとトンボになる種類が多いのですが、2年から4年ほどヤゴで過ごすトンボの種類もあります。ムカシトンボは5～8年かかるといわれています。



アサヒナカワトンボ



ムカシトンボ



オニヤンマ

羽化＝幼虫から成虫へ。ヤゴからトンボへ。トンボにはサナギのどんかきがありません。幼虫からいきなり成虫になります。



オオアオイトトンボ



ダビドサナエ



シオカラトンボ

食べる＝ヤゴ（幼虫）の時は、ミジンコや水中に住む小さな昆虫、小魚などを食べます。トンボ（成虫）はおもに飛んでいるこん虫をつかまえて食べます。



キトンボがガをとらえて食べている



シオカラトンボがミヤマアカネを食べている

なわばり＝オスは水辺で草や石やなどに止まったり、岸辺にそって飛び回ったりしてなわばりを作ります。



ショウジョウトンボ



ルリボシヤンマ

『れんけつ』と『こうび』 = トンボはこうびの前に、オスがメスをつかまえて『れんけつ』します。



セスジイトトンボのれんけつ



ホソミオツネントンボのこうび

さんらん = たまごをうむ。メスは水辺において産卵（さんらん）します。産卵のしかたはトンボの種類によって、いろいろな形があります。



ギンヤンマ 連結したまま植物に産卵



オオルリボシヤンマ メスだけで植物に産卵



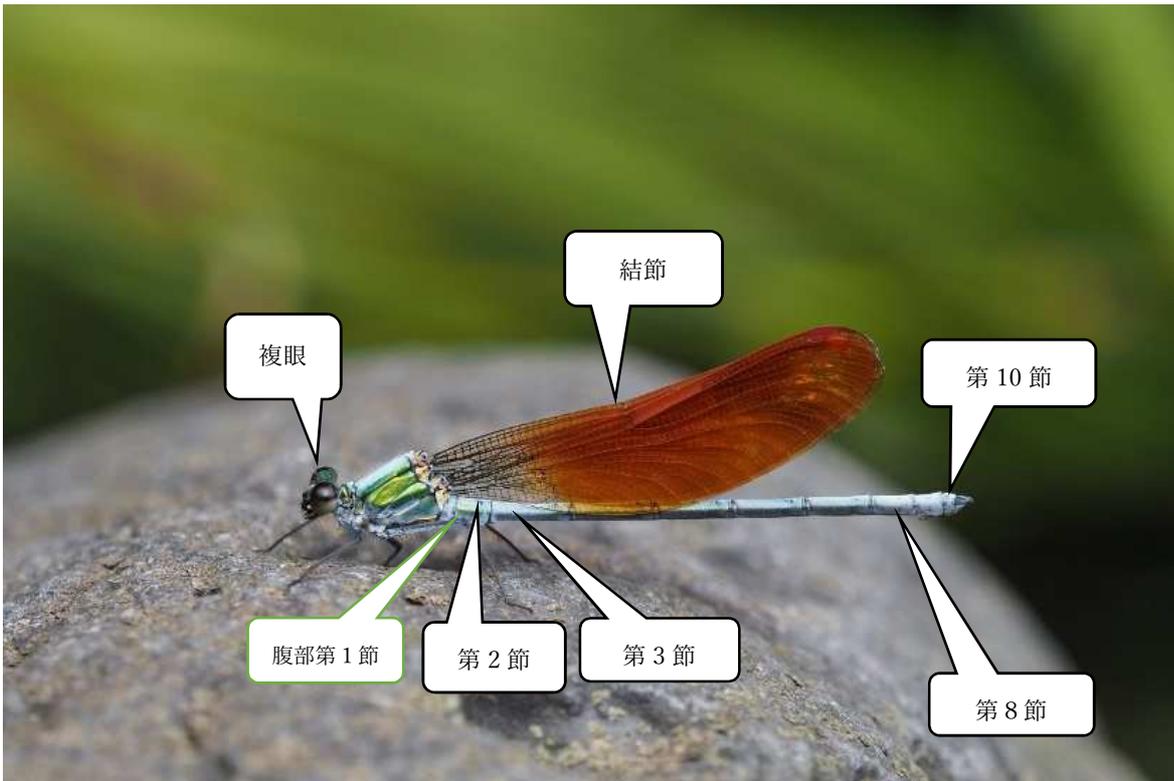
ナツアカネ 連結したまま卵をばらまく



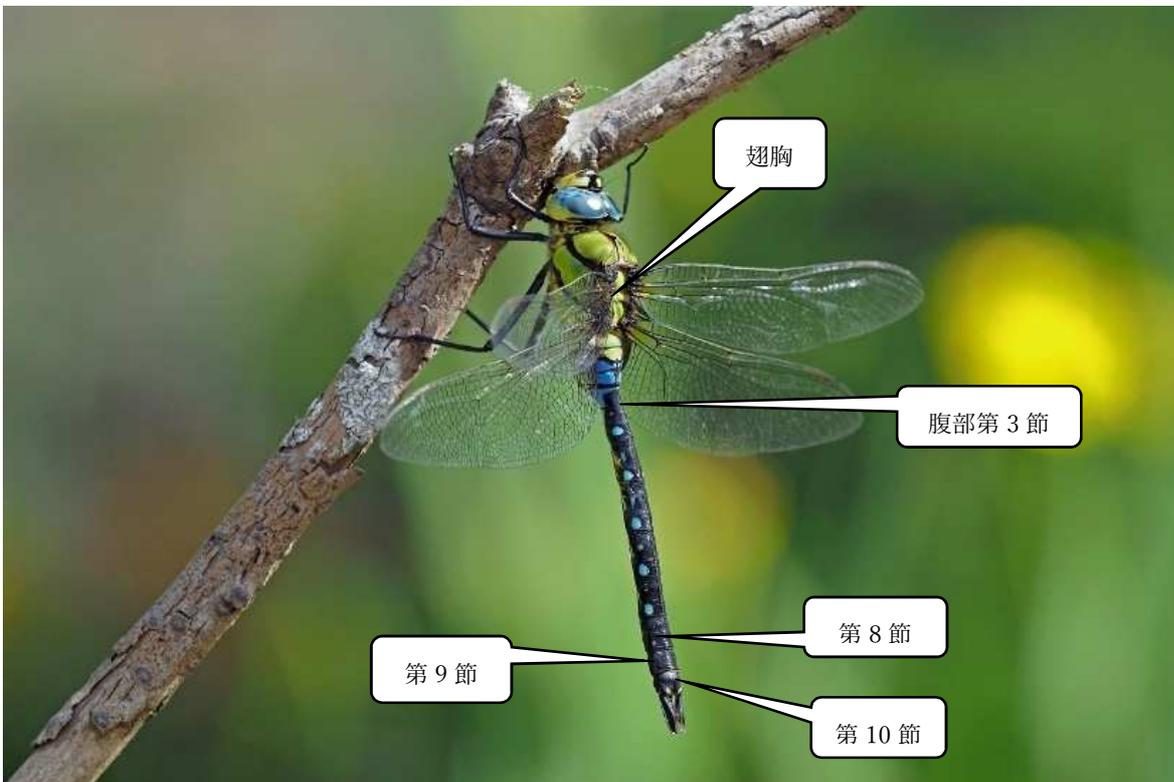
アキアカネ 連結したまま浅い水の底にうみつける

トンボの体

【均翅亜目】 ニホンカワトンボ



【不均翅亜目】 クロスジギンヤンマ



富士市赤どぶ池・めがね池のトンボ

<アオイトトンボ科>

アオイトトンボ *Lestes sponsa* (Hansemann,1823)



♂ 2023.10.1 大坪新田(赤どぶ池)



♀ 2011.9.23 浜松市南区

色や大きさ 全長 34~48mm。羽化してしばらくは緑色に光る。だんだんと色が変わり全体にくすんで、オスは胸と腹の先に白い粉がつく。メスにもオスと同じように白い粉がつくこともある。

見られる時期 5月はじめごろか10月末ごろまで見られる。

すむ場所 水辺に植物がしげった池や沼、湿地など。

生活史 羽化した成虫はいったん水辺をはなれ、林などに集まる。8月末ごろから水辺にもどりオスは昼間、水辺に止まってなわばりをつくる。産卵はオスとれんげつしたまま水辺の植物などに行う。

市内の状況 今までにめがね池と赤どぶ池だけで見つかった。

オオアオイトトンボ *Lestes temporalys* Selys,1883



♂ 2014.9.21 御殿場市二枚橋



♀ 2014.9.21 御殿場市二枚橋

色や大きさ 全長 40~55mm。羽化してしばらくは緑色に光る。だんだんと緑色の部分はくすんでくる。オスは体の先たんが白くなる。

みられる時期 5月中旬ごろ11月末くらいまで見られる。

すむ場所 林にかこまれて、木の枝が水の上にはり出した池や沼、しっち、水田や小川など。

生活史 羽化をした成虫はいったん水辺をはなれ、うすぐらい林に集まる。8月末ごろから水辺にもどりオスは昼間、水辺に止まってなわばりを持つ。オスメス連結したまま水の上にはり出した木の枝に産卵する。

市内の状況 めがね池と赤どぶ池、あさひいのちの森で見つかった。

<カワトンボ科>

ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata* (Selys,1853)



♂ 2016.8.6 三島市源兵衛川



♀産卵 2016.8.6 三島市源兵衛川

色や大きさ 全長 54～68mm。オスの体は緑色に光る。メスの体は黒っぽく見える。

みられる時期 5月末ごろから10月末ごろまで見られる。真夏に最も多い。

住む場所 ツルヨシなどの水草が茂った川や小川。

生活史 川に住むトンボで、羽化をしてしばらくの間だけ、赤どぶ池のまわりの暗い林の下で見られる。

富士市では 全国では川や水路に普通。富士市内ではあまり見られない。

<イトトンボ科>

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys,1876



♂ 2024.7.10 富士市大坪新田 (赤どぶ池)



♀ 2014.6.7 磐田市桶ヶ谷沼

色や大きさ 全長 31～48mm。 オスはあざやかな黄色で、背中の一部は黒い。メスは黄色から黄緑色。

見られる時期 5月中旬ごろから9月中旬ごろまで見られる。

住む場所 水辺に植物が茂った湿地や池、沼、稲作（米を作ること）をやめた水田など。

生活史 オスは昼間水辺に止まり、ときどき水辺の草の間などを飛び回りメスをさがす。メスは水面に出た植物などに産卵する。

富士市では めがね池と赤どぶ池で見つかることがある。

クロイトトンボ *Paracercion calamorum* (Ris,1916)



♂ 2024.5.8 富士市中里 (めがね池)



♀ 2014.5.10 富士市中里 (めがね池)

色や大きさ 全長 27~38mm。体は全体に黒っぽい。胸の部分はオスは空色でだんだんと青白く粉をふく。メスは黄緑色だがオスと同じ色のメスも見られる。

見られる時期 4月末ごろから9月末ごろまで見られる。

住む場所 水辺や水中に植物が茂る池や沼、湖、ゆるやかな流れの小川など。

生活史 オスは、昼間水面に出た植物などに止まってなわばりを持つ。オスメス連結したまま水面に出た水草などに産卵する。

富士市では めがね池と赤どぶ池、あさひいのちの森などで見られる。

セスジイトトンボ *Paracercion hieroglyphicum* (Brauer,1865)



♂ 2014.5.10 富士市中里 (めがね池)



♀ 2014.5.17 富士市中里 (めがね池)

色や大きさ 全長 27~37mm。 オスは空色、メスは黄緑色の地色に黒いまだらもようがある。

見られる時期 4月末ごろから10月末ごろまで見られる。

住む場所 水中に水草がしげった池や沼、流れのゆるい川や水路など。

生活史 オスは昼間、水面近くの水草などに止まってなわばりを持ち、ときどき水面近くをすべるように飛ぶ。メスはオスと連結したまま水面近くの水草などに産卵する。

富士市では めがね池や赤どぶ池など市内のため池で見られたが、とても少なくなった。

ムスジイトトンボ *Paracercion melanotum* (Selys,1876)



♂ 2018.6.2 富士市中里 (めがね池)



♀ 2023.6.3 富士市中里 (めがね池)

色や大きさ 全長 31~39mm。オスは空色、メスは黄緑色の地色に黒いまだらもようがある。

見られる時期 4月末ごろから10月末ごろまで見られる。

住む場所 水中や水面に水草がしげった池や沼。

生活史 オスは昼間、水面近くの水草などに止まってなわぼりを持ち、ときどき水面近くをすべるように飛ぶ。メスはオスと連結したまま水面近くの水草などに産卵する。

市内の状況 めがね池と赤どぶ池では初夏から夏にはたくさん見られる。

アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* (Rambert,1842)



♂ 2018.6.2 富士市大坪新田 (赤どぶ池)



♀ 2018.6.2 富士市中里 (めがね池)

色や大きさ 全長 29~38mm。胸のぶぶんはオスは黄緑色または空色に前面と肩に黒いすじがある。体の後ろの方が鮮やかな空色。メスは最初は胸のぶぶんがオレンジ色で前がわに黒いすじがある。たんだん色が変わりオレンジ色部分は緑色に、さらにちゃ色に変化する。オスと同じ色のメスも見られる。

見られる時期 4月末ごろから10月末ごろまで見られる。

住む場所 水辺や水中に水草がしげる池や沼、流れのゆるやかな水路など。

生活史 オスは、昼間水面に近い植物などに止まってなわぼりをつくり、ときどき水面近くを飛んでメスを探す。産卵は、水面近くの水草などに行う。

富士市では めがね池と赤どぶ池、あさひいのちの森などでは毎年みられる。秋には数が増える。

<ヤンマ科>

ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer, 1865



♂♀連結産卵 2022.10.1 浜松市南区

色や大きさ 全長 65～84mm。複眼から胸、腹の前よりまで黄緑色で、腹部第 2,3 節に水色の部分がある。メスは腹部第 2,3 節に水色の部分がないが、水色の部分があるメスもいる。

見られる時期 4 月末ごろから 10 月末ごろまで見られる。

住む場所 池、沼や水田、小川など。学校プールでヤゴが採集されることがある。

生活史 オスは水面上を飛びながらなわばりをつくる。産卵は写真のようにれんげつしたまま水面に出た水草などに行く。メスだけで産卵することもある。

富士市では ため池や水田、幅が広く流れが緩やかな川など。

<サナエトンボ科>

タイワンウチワヤンマ *Ictinogomphus pertinax* (Hagen in Selys, 1854)



♂ 2022.8.19 富士市大坪新田 (赤どぶ池)

色や大きさ 全長 70～81mm。黒地に黄色い斑紋がある。複眼はだんだん緑色になる。腹部の先たん近くが丸くウチワ状に広がる。この部分はウチワヤンマより小さく、中に黄色いぶぶんがない。

見られる時期 5 月末ごろから 10 月中ごろまで見られる。真夏が一番多い。

住む場所 水面が開けた池や沼や湖。

生活史 オスは昼間水面からつき出た植物や棒の先などに止まってなわばりをつくり、ときどき周りを飛んでパトロールする。産卵はホバリングしながら体の先たんを水面に浮いたものに打ちつけて行う。卵はねばりけのある糸でつながる。

富士市では 水面が広くて大きな池や沼を好むので、そのような環境が少ない富士市ではあまり見られない。

<トンボ科>

チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys,1883



♂ 2024.6.19 富士市大坪新田



♀ 2008.7.10 磐田市桶ヶ谷沼

色や大きさ 全長 31~42mm。体全体が黒っぽい。はねは、はばが広く、オスは青紫色、メスは黒いぶぶんが緑色に輝くタイプとオスと同じようなタイプがある。前のはねの先たんに無色とうめいな部分がある。

見られる時期 6月はじめから10月中旬ごろまで見られる。真夏に一番多くなる。

住む場所 林に囲まれて水草が多く、十分な深さのある池や沼や川のよどみなど。

生活史 羽化してしばらくは近く水辺の林に移動し、木の上の開けたところを群れで飛びまわる。しばらくすると水辺にもどり、植物などに止まり、時々飛びながらなわばりをつくる。産卵は水草の間の水面の上を飛び、水面を打つようにして行う。

富士市では 赤どぶ池とめがね池以外ではほとんど見られない。赤どぶ池とめがね池では多い。

リスアカネ *Sympetrum risi risi* Bartenev,1914



♂ 2022.10.1 浜松市南区



♀ 2009.8.29 岐阜県可児市

色や大きさ 全長 31~46mm。羽化してしばらくは橙黄色に黒いしまもようがある。しばらくするとオスは体が真っ赤になる。メスは背中黄色っぽい部分が黄土色に変わっていく。はねの先端にこげ茶色の部分がある。

見られる時期 6月はじめごろから11月中旬ごろまで見られる。

住む所 まわりを林に囲まれた池や沼や湿地の水たまりなど。

生活史 羽化してしばらくは水辺をはなれ、林のへりなどで枝先に止まる。しばらくするとオスは水辺にもどり、水辺の木の枝や草の先などに止まってなわばりをつくる。時々まわりを飛び回りパトロールする。産卵はオスメス連結したまま浅い水辺の上を飛びながら、空中から産み落とす。メスだけで産卵することもある。

富士市では 赤どぶ池やめがね池ではたまに見られることがある。あさひいのちの森では毎年みられる。

アキアカネ *Sympetrum frequense* (Selys,1883)



♂ 2014.9.21 御殿場市山之尻



♀ 2023.10.16 富士市中里 (めがね池)

色や大きさ 全長 32~46mm. 羽化してしばらくは黄色の地に黒いもようがある。オスは秋になると腹の部分がやや朱色がかった赤に変化する。メスは茶色っぽくなるものと、背中がオスと同じように赤くなるものがある。

見られる時期 6月初めごろから12月末ごろまでみられる。羽化後涼しい山地に移動するため平地では一時的に目につかなくなる。

住む所 水草が茂った湿地や水田、池や沼など。学校プールでも幼虫が見つかる。

生活史 羽化をしてすぐに山地に移動して夏を過ごす。秋になると山を下り、平地の水田や池沼に集まる。連結したまま次々と移動していく。産卵は連結したまま、水面や浅い水の底をたたくようにして行う。

富士市では 初夏から夏は富士山など山地で、秋は水田を中心にふつうに見られる。

コノシメトンボ *Sympetrum bacca* Ris,1911



♂ 2017.10.9 御殿場市柴怒田



♀ 2023.9.6 御殿場市深沢

色や大きさ 全長 31~46mm. 羽化してしばらくは橙黄色に黒いもようがある。やがてオスは全身がほぼ真っ赤になる。

メスは黒いもようが残る黄色部分が少し茶色っぽくなる。オスメスともはねの先たんに黒い部分がある。

見られる時期 6月はじめごろから12月はじめごろまで見られる。

住む所 池や沼、水田など。学校のプールで幼虫が採集されることがある。

生活史 オスは水辺の石や植物などに止まってなわばりをつくり、時々まわりを飛び回ってパトロールする。産卵はオスメス連結したまま水面を訪れ、体の先たんで水面を打つ。

富士市では 水田やため池などで時々見つかることがある。

マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* (Selys,1883)



♂ 2018.8.18 御殿場市深沢



♀つま黒型 2020.9.15 富士宮市小田貫湿原

色や大きさ 全長 30~43mm。羽化してしばらくは橙黄色に黒いもようがある。しばらくするとオスの体は、はねのつけ根より後ろの部分が真っ赤になる。メスは黄色い部分が茶色っぽくなるものが多いが、オスのように赤くなるものもある。またメスの一部は翅の先が黒くなる。

見られる時期 6月はじめごろか12月はじめごろまで見られる。

住む所 林にかこまれ水辺や水中に植物が茂ったしっち、池や沼など。

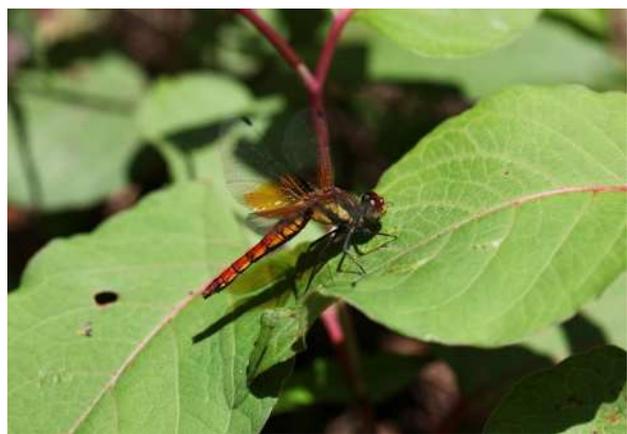
生活史 羽化してしばらくは山すそや、山に囲まれた水田近くの林のへりなどで見かけることがある。秋になると水辺に現れ、植物の葉などに止まる。産卵はオスメス連結したまま、岸辺の植物の間のごく浅い泥底に体の先端を打ちつけて行う。

富士市では 今まであまり見つかっていない。

ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguma,1915



♂ 2023.10.16 富士市中里 (めがね池)



♀ 2018.8.31 静岡市高山市民の森

色や大きさ 全長 38~48mm。羽化してしばらくはだいたい色、胸の横に1本の太い黒いすじがある。しばらくするとオスは全体が真っ赤になる。メスは赤身の強いだいたい色に黒いもようがある。オスもメスもはねのつけ根にだいたい色の部分がある。

見られる時期 5月ごろから11月初めごろまで見られる。アカトンボのなかまではめずらしく、夏に多い。

住む所 林に囲まれ、水の中に植物がしげった池や沼。

生活史 羽化すると低い山の林などに移動する。しばらくすると水辺にもどり、岸辺の植物などに止まって、ときどき飛びながら縄張りをつくる。産卵はオスメス連結したまま、水面を打つようにして行う。

富士市では 林に囲まれ水草が茂った池や沼は少ないので、あまり見られない。

コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister,1839)



♂ 2014.7.1 富士市大坪新田（赤どぶ池） ♀ 2019.6.16 富士市大坪新田（赤どぶ池）

色や大きさ 全長 40~50mm。黒地に体の真ん中に黄色い部分がある。体色はあまり変化せず、黄色い部分がオスではほぼまっ白に、メスはやや白っぽくなる。はねの先の部分にオスはわずかに、メスのはっきりと黒い部分があり、後ろのはねのつけ根に大きな黒い部分がある。

見られる時期 5月はじめごろから10月はじめくらいまで見られる。

住む所 林に囲まれた池や沼、流れのゆるやかな小川など。

生活史 羽化をするとしばらくは水辺に近い林の中のせまい空間や、川の流れの上空などを、群れを作り飛び回る。しばらくするとオスは水辺に戻り、岸辺近くの水の上を飛びながらなわばりをつくる。産卵は♀が水面に浮かぶ植物や水面に落ちた枝などに腹の先たんを打ちつけ、卵を付ける。

富士市では 赤どぶ池やめがね池では夏によく見られる。

コフキトンボ *Deielia phaon* (Selys,1883)



♂ 2018.7.9 沼津市原・一本松

♀同色型 2014.7.29 伊豆の国市浮橋

色や大きさ 全長 37~48mm。羽化してしばらくは黒地に黄色いのもようがあるが、オスはすぐに青白くなる。メスはオスと同じ色のタイプと、白くならず、はねに茶色っぽい帯のようなもようがあるタイプの2つがある。

見られる時期 4月の末から10月の末ごろまで見られる。

住む所 岸辺や水中に植物が茂った池や沼、ゆるやかな水路など。

生活史 オスは水辺の植物や水面から突き出た棒の先などに止まり、ときどき水の上を飛んでなわばりを作る。産卵は水面に浮かぶ植物や水面に落ちた枝などに体の先たんを打ちつけ、卵を付ける。

富士市では 赤どぶ池では前よりも見られることが多くなっている。

ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta,1983



♂ 2022.6.2 富士市中里 (めがね池)



♀ 2023.7.14 御殿場市柴怒田

色や大きさ 全長 38~55mm。羽化してしばらくはだいたい色。体の背中にそって黒いもようがある。しばらくするとオスは全身が真っ赤になり、黒いもようは目立たなくなる。メスはくすんだ黄色になる。

見られる時期 4月末ごろから10月末ごろまで見られる。

住む所 池や沼、休耕田、緩やかな水路など。

生活史 羽化してしばらくは、水辺に近い空き地や草地などの、低い木の枝先や下草などに止まっている。

富士市では 赤どぶ池とめがね池では真夏によく見られる。

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius,1798)



♂ 2009.8.29 富士市大坪新田



♀ 2011.9.24 藤枝市築地

色や大きさ 全長 44~54mm。羽化してしばらくは橙黄色。背中にそって細かな黒いもようがある。オスは少し赤みが増す。後ろのはねの付け根に小さな橙黄色の部分がある。

見られる時期 4月末ごろから11月末ごろまで見られる。暑い時期には2ヶ月ほどで卵から成虫になる。

住む所 水田や湿地、ゆるやかな小川など。

生活史 未成熟な成虫は空き地や草地、グラウンドなどの上をゆらゆらと長い時間飛びまわる。時々低木の枝や下草などに静止する。産卵は♀連結あるいは単独での水面を打つように行う。

富士市では 春に海を越えて南から飛んでくる。初夏から秋にかけて急に数が増え、空地や水の上などを飛びまわる。冬には幼虫もふくめいったんすべて姿を消す。

シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler,1858)



♂ 2015.8.16 伊豆の国市浮橋



♀ 2015.8.29 富士市大坪新田 (赤どぶ池)

色や大きさ 全長 47~61mm。羽化してしばらくは黄土色に黒いもようがある。オスは少しずつ胸部や腹部背面に青白い粉がふき出し、青っぽい灰白色になる。メスはやや色が濃くなるがあまり大きくは変わらない。まれにオスと同様白化する個体がある。複眼はオスは青、メスは緑色。メスをムギワラトンボと呼ぶこともある。

見られる時期 4月のはじめごろから10月末ごろまで見られる。

住む所 池や沼、休耕田、水田、ゆるやかな水路、人工池など。

生活史 羽化してしばらくは空き地や草地などによく見られ、下草などに止まっている。しばらくするとオスは水辺に戻り、地面や石、植物や棒などに止まってなわばりを作る。産卵は水面を体の先たんで打つように行う。

富士市では 人工的な水辺も利用する。広く分布する。

オオシオカラトンボ *Orthetrum melania melania* (Selys,1883)



♂ 2014.6.21 三島市山田川自然の里



♀ 2024.6.8 三島市山田川自然の里

色や大きさ 全長 49~61mm。羽化してしばらくはオスメスとも全体が黒く、体の真ん中あたりに黄色いもようがよく目立つ。オスは少しずつ体全体に青い粉が出てきて、青みをの強い灰色になり、体の先たんに黒い部分が残る。メスは黄色い部分がやや濃くなるがあまり大きくは変わらない。

見られる時期 5月中ごろから10月末ごろまで見られる。

住む所 林に囲まれた池や沼や休耕田、水田、湿地など。

生活史 羽化したばかりの成虫は水辺に近い林や草むらなどで見かけることが多い。しばらくするとオスは水辺に戻り、岸辺の植物や棒などに止まってなわばりをつくる。産卵は浅い水面を体の先たんでたたくように行う。

富士市では あまり多くないが、調整池など人工的な小さな水辺で発生していることもある。